

花 6月～7月	サクラソウ科	
オカトラノア		
<p>獣の尾のような花穂をつける</p> <p>日当たりのよい丘陵の草地に生え、虎の尻尾のような花穂を伸ばすので、「丘虎の尾」の名がついた。</p> <p>地下茎は横に長く這い、そこから伸びる茎は直立し、草丈は60cm～1mになる。葉は互生し、葉先は鋭くとがっていて裏に腺点がある。</p> <p>初夏から夏にかけて、直径8mm～12mmの白い花が集まって太い花穂を形成する。花穂の先は最初垂れ、花後には直立する。</p>		
花 6月～8月	ダデ科	
ドクダミ		
<p>日本に自生する薬物植物の代表格</p> <p>日本の各地の日陰に生え、ジュウヤクともいう別名でも知られる薬物植物。</p> <p>草丈20cm～50cmで、茎は黒みがかかった紫を帯びることが多い。長さ3～8cmのハート型の葉は先がとがり、基部には大きな托葉をつける。</p> <p>花は黄色で、長さ1～3cmの穂に多数集まる。花は穂の下から順に開花する。花は長楕円形で白く、4枚あって花びらのようになり、花後も残る。</p>		
6月～7月	キキョウ科	
ヤマホタルブクロ		
<p>近畿から東北地方南部にかけて、山地に自生するホタルブクロの変種。ホタルブクロは、がくの裂片と裂片に間にある細長い付属片が上向きに反り返るが、ヤマホタルブクロに付属片はない。全体的に粗い毛を生やし、花は赤みかかった紫で、種子には狭いひれがある。</p>		